



編集雑記

既刊案内 (特集・主要記事)

[10月号]

◎『シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.35』山梨大学准教授原本英司氏を訪ねて(大学院総合研究部附属 国際流域環境研究センター 工学部 土木環境工学科 准教授)水系のウイルス、原虫、バクテリアに取り組み～SATREPSを契機にネパールでの衛生改善にも貢献～水道ネットワーク通信 有村源介 ◎平成30年度「技能検定」の実施状況を公表します～新たに約32万人が「技能士」に…厚生労働省 ◎平成30年 建設業活動実態調査の結果…国土交通省 ◎建築物リフォーム・リニューアル調査報告(概要)…国土交通省 ◎水素・燃料電池技術開発戦略を策定しました～経済産業省 ◎「～SDGs達成に向けた～持続可能な地域の創り手を育む「学びの場」づくりガイドブック」の発行について…環境省 ◎建設工事公衆災害防止対策要綱の改正について…国土交通省 ◎平成30年度末の汚水処理人口普及状況について…環境省 ◎新連載 どうする? 地方小規模水道(4)富良野市×北海道総研×北大の取り組み 農家と高校生パワーが地域水インフラを支える 北海道立総合研究機構北方建築総合研究所 地域研究部 地域システムグループ主査(資源循環)牛島 健氏に聞く…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎明日への道標 金銭の奴隷になるな～石油王 ロックフェラーの葛藤～(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎『東京プラリル』御茶ノ水～東京都水歴史館と日本サッカークミュージアム…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎LIXIL茨城県立カシマサッカースタジアムに2020年に向けた日本の先進的なトイレ空間「REST and」オープン…月刊コア編集部◎『特別連載』平成を偲ぶ パロディ狂歌集(6)～平成悪人百首～弁護士 野平大魚 ◎『数遊びその6』おもしろ脳トレ講座…加藤千賀 ◎『見てきたような話②』セクシー・ボイス…低空飛行機◎新・撮った写真が5万枚!?続・絶滅寸前昭和の言葉全集…IDE研究所 いでこうじ ◎『建築着工統計(2019年7月)』…国土交通省◎新製品紹介 ◎ニュースファックス ◎エッセイ 西村修一、新

[11月号]

◎『シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.36』東北大学大学院工学研究科 土木工学専攻 環境保全工学研究室准教授 久保田健吾氏を訪ねて 環境微生物の動態を解析し、排水処理に貢献 排水処理に付加価値つけ途上国に適用も…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎『品確法基本方針』及び「入契法適正化指針」の一部変更について…国土交通省 ◎環境経済観測調査(環境短観)令和元年6月調査確報値の公表…環境省 ◎『令和元年版 労働経済の分析』を公表します～分析テーマは「人手不足の下での「働き方」を巡る課題について」～厚生労働省 ◎平成30年法人土地・建物基本調査(速報集計結果)の公表…国土交通省 ◎地下水マネジメントに取り組む際の手順をわかりやすく解説～「地下水マネジメントの手順書」を作成しました～内閣官房 ◎建設分野の技能実習生に受入人数枠 建設キャリアアップシステム登録も義務化へ…国土交通省 ◎平成30年度 家庭部門のCO2排出実態統計調査の結果…環境省 ◎コンパクトシティ政策の次のステージに向けて…国土交通省 ◎住宅の不動産価格指数、55ヶ月連続して前年同月比で上昇…国土交通省 ◎『明日への道標』生まれは南 最後は北～いも男爵 川田龍吉～(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎『現場レポート』ミナミサワ本社工場 粕谷全管連事務理事が視察訪問～ニーズに応えた独創的ものづくり～月刊コア編集部 中山智史 ◎『東京プラリル』石神井 松の風公園での能・狂言～新能「朝猿」と「葵の上」を鑑賞…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道◎『特別連載』平成を偲ぶ パロディ狂歌集(7)～平成一人百首～弁護士 野平大魚 ◎新・撮った写真が5万枚!? 神田神保町で集めた外国映画パンフレット…IDE研究所 いでこうじ ◎『見てきたような話③』元気な限り…低空飛行機◎『数遊びその7』おもしろ脳トレ講座…加藤千賀 ◎『建築着工統計(2019年8月)』…国土交通省 ◎新製品紹介 ◎ニュースファックス ◎エッセイ 西村修一、新田純子

東京国際映画祭で男はつらいよシリーズの22年ぶりの新作『お帰り寅さん』がオープニングを飾った。1969年の初公開以来50作目となる国民的喜劇は同一の俳優による世界最長のロングラン作品としてギネスブックにも認定された。年末の12月27日から全国で上映される。

主役の車寅次郎ことフーテンの寅を演じた渥美清は1996年に他界している。生まれ育った東京・葛飾柴又の団子屋を舞台にテキ屋稼業の寅が旅先で出会った美女に惚れて失恋するというおなじみのパターンで人気者になる。傷心の寅は妹さくら役の倍賞千恵子に別れを告げてふたたび旅に出る。新作では成長して小説家になった甥の満男の回想シーンに旧作の名場面が巧みに織り込まれる。

監督の山田洋次は松竹映画の代名詞として家族に焦点をあてた小津安二郎の作風を基本的に受け継いでいる。山田によるとフーテンは自由な精神の象徴だ。破天荒な寅は幼い日の満男に対しても決して既成の価値観を押しつけようとはしない。おとなになるに連れて満男はそれがどれほど大切なことなのか自分なりに気づいていく。

とはいえ寅のようなフーテンに寛容な牧歌的な時代は過ぎ去った。弱肉強食の格差社会では寅の居場所もなかなか見つからないとわたしは思う。しかし同時に「それを言っちゃあ、おしめえよ」という寅の名調子をわたしは思い出す。きわめて窮屈で生きにくい世の中だからこそ人々は下町の風情や人情や懐かしさに惹かれていくのだろう。人間が人間らしく生きられるように。(高倉)

給排水・衛生・環境設備の総合誌

月刊「コア」第361号

令和元年12月10日発行 定価1,000円(税別)

発行編集人 高倉克也

印刷所 (株)日本設備工業新聞社出版事業部

発行所 〒150-0031東京都渋谷区桜丘町10-13

(野元第1ビル)(株)日本設備工業新聞社

TEL (03) 3496-4774(代)

FAX (03) 3464-1884